

平成30年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「クウェネン地区モツワセレ中等学校保健室棟建設計画」契約署名式の実施

在ボツワナ日本国大使館
平成30年10月10日

平成30年10月10日、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「クウェネン地区モツワセレ中等学校保健室棟建設計画」を実施するための契約署名式が、被供与団体であるモツワセレ中等学校関係者及び関係省庁からの出席を得て、在ボツワナ日本国大使館にて行われました。式典の中で、竹田浩三大使及び被供与団体代表のマト・モツワセレ中等学校校長は、供与額を46,250米ドルとする契約書に署名しました。

本案件は、首都ハボロネから約50km西に位置するモレポロレ村の公立中等学校に保健室棟を無償で建設するものです。当国では、他のアフリカ諸国と比べて高い教育レベルを誇るものの、公立校の施設は最低限しか整えられていないことが多いのが実情です。同校では約740名の生徒が学んでいますが、これまで保健室にあたる部屋がありませんでした。本案件の実施により、カウンセリングや応急処置の提供が可能となり、生徒の学力の向上のみならず、不登校や若年妊娠といった思春期の生徒たちを取り巻く問題の減少に寄与することが期待されています。



竹田大使と握手する
マト・モツワセレ中等学校校長



モツワセレ中等学校で学ぶ3年生の生徒たち